

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-57274

(43) 公開日 平成10年(1998) 3月3日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 K 11/04			A 4 7 K 11/04	
A 6 1 G 9/00		9052-4C	A 6 1 G 9/00	A

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-246794

(22) 出願日 平成8年(1996) 8月14日

(71) 出願人 595048441

松尾 喜治

千葉県八千代市八千代台東3-7-2

(72) 発明者 松尾 喜治

千葉県八千代市八千代台東3の7の2

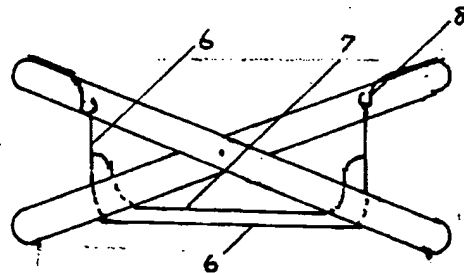
Abstract on last page

(54) 【発明の名称】 介護用折たたみ式床几型ポータブル省カトイレ

(57) 【要約】

【目的】 折りたたみ式床几型の便座部と、消耗部品のみよりなる取り外し可能で、用済み後は、排泄物もろ共焼却できる便槽部により構成される、共に、介護のマンパワーを節約せんとするものである。

【構成】 本発明のポータブルトイレの便座部を、軽量で、コンパクトな折りたたみ式床几型とし、収納スペースを節約し、且つ、片手で下げて持ち運び出来、又、便槽部は、便座部と取り外し可能な、紙おむつを底に敷いたビニール製買物袋の消耗部品のみで構成し、用済み後は、取り外して、一時、容器に収納し、後に纏めて、排泄物の入った袋ごと焼却処分ができるものとした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】2組のJ字型パイプを上下を逆にして×型に組み合わせ、便座用の穴を開けたプラスチック板の一端を、円筒形に成形し、J字型上端パイプの周りを回転できるように嵌込み、他端を円筒形に曲げ、他のJ字型上端パイプに着脱可能に嵌込み、折りたたみ可能な、床几型便座部を組み立て、しかる後、紙おむつを敷いたビニール製の買物袋を掛け、袋の口を、便座穴の周りに設けた吊り鉤にかけ、消耗部品で構成される便槽部を、便座穴を通して吊し、トイレをセットし、用済み後は、便槽部を取り外して袋の口を閉じ、一時、容器に収納した後、纏めて袋ごと焼却処分出来るマンパワーの節約が期待できる介護用折りたたみ式床几型ポータブル省カトイレ。

【請求項2】2組のJ字型パイプを×型に組み合わせ、その上端のパイプのそれぞれの孔に、中央に便座穴を開けた穴の周りに吊り鉤を設け、かつ、折りたたみ可能な厚手の布の両端を固定した、コ字型の2組の細めのパイプの両先端を差し込み、固定し、布を掛けて、床几型トイレを組み立て、しかる後、上述の、消耗部品で構成された取り外し可能な便槽部を取付けた、介護用折りたたみ式床几型ポータブル省カトイレ。

【発明の詳細な説明】

【0000】〔産業上の利用分野〕本発明は、介護用ポータブルトイレの便座部を、折りたたみ可能な、床几型とし、収納と持ち運びを容易にし、又、取り外し可能な便槽部を、消耗部品のみで構成し、用済み後の焼却処分を可能にし、人の嫌がる便槽の清掃等の3Kに当る作業を省略できるようにし、前者と共に、介護用マンパワーを節約せんとする分野に属するものである。

【0002】〔従来の技術〕従来のポータブルトイレは、その殆んどがポリエチレン製の箱型で、割と嵩張り、収納、持ち運び共に、些か不便で、又、便槽部の取外しが可能で、用済み後便槽のみの清掃ができるが、消耗品でないで、便槽部の排泄物の処理と、便槽のその都度必要な洗浄等、人の嫌がる3Kの作業を逃れることはできない。

【0003】〔発明が解決しようとする課題〕従来のポリエチレン製箱型のポータブルトイレは、割と嵩張って、持ち運びが不便で、収納スペースの節約も難しく、又、用済み後、その都度、便槽部の清掃等の、人の嫌がる3K作業が、必要となる欠点があった。

【0004】〔課題を解決するための手段〕上記課題を解決するために、本発明においては、便座部を、折りたたみ可能な床几型とし、コンパクトに折りたたんで、収納しやすくし、又、片手で持ち運び可能なものにした。更に、便槽部は、ビニール製の買物袋の底に、紙おむつを敷いた消耗部品のみで構成し、用済み後は、袋の口を閉じ、一時、容器に保管し、後に纏めて袋ごと焼却処分することができるようにした。

【0005】〔作用〕上述のように構成されているため、消耗部品の便槽部を吊され、折りたたまれたまま、コンパクトに収納されているポータブルトイレは取出され、片手で下げて、所定の場所に運ぶことができる軽便なもので、床几の脚を開いて、トイレがセットされる。用済み後は、排泄物の入った袋を閉じ、一時、容器に保管した後、纏めて、袋ごと焼却処分し、人の嫌がる3Kの作業を省略し、前者と共に、介護用のマンパワーの省力に寄与せんとするものである。

【0006】〔実施例〕上記のように構成された本発明の介護用トイレは、図. 4の如く、コンパクトに折りたたまれたまま、収納場所より、片手に下げて、容易に運び出される。図. 5の如く、J字型パイプ1、1'を×型に組み合わせ、図. 1の如く、便座穴5を開けたプラスチック板3の一端に、図. 2の4の如く円筒形に成形し、J字型上端のパイプ2の周りを回転できるように嵌込み、他端を図. 2の4'の如く、円筒形に成形し、J字型上端のパイプ2'より取り外しできるように嵌込み、固定して、折りたたみ可能な床几型の便座部を組み立てる。次に、図. 3の如く、底に紙おむつ6を敷いたビニール製買物袋7を掛け、袋の口を便座穴5の周りに取り付けられた吊り鉤8にかけ、便座穴5を通して吊ろし、消耗部品のみで構成された便槽部を設ける。用済み後は、排泄物の入ったままの袋の口を閉じ、一時、容器に収納保管した後、纏めて焼却処分できるものである。使用後は、そのまま折りたたんだ状態で収納することができる。

【0007】図. 5'に示される実施例では、2組のJ字型パイプを×型に組み合わせ、その上端のパイプ孔9、9'に、図. 1'の如く、便座穴5'を開け、穴5'の周りに吊り鉤8'を設けた、折りたたみ可能な厚手の布の両端を固定した、コ字型の細めのパイプ10・10'を夫々パイプ孔の9・9'に差し込んで、折りたたみ可能な床几型便座部を組み立て、これに、前述の消耗部品で構成される便槽部を取り付けて、同じく、介護用折りたたみ式床几型ポータブル省カトイレとする。

【0008】〔発明の効果〕本発明は、以上説明したように構成されているので、以下に記載される効果を奏する。

【0009】コンパクトで軽量のトイレは、収納スペースが節約され、持ち運びが片手で容易に出来る。

【0010】取り外しができ、全て消耗部品よりなる便槽部は用済み後、取り外し、排泄物の入った袋を閉じ、一時、容器に収納保管し、後に、纏めて焼却処分し、3K作業を省き、前項と共に、介護用マンパワーを節約できる。

【図面の簡単な説明】

【図. 1・1'】床几の腰掛部の平面図

【図. 2・2'】A-A断面、A'-A'断面図

【図. 3・3'】省カトイレ側面図

【図. 4・4'】折りたたまれた省カトイレの側面図

【図. 5・5'】U字型パイプ組立斜視図

【符号の説明】

- 1・1' U字型パイプ
2・2' U字型上端パイプ
3 プラスチック板
3' 厚手の布

4・4' 円筒形の嵌込み部

5・5' 便座穴

6・6' ビニール製買物袋

7・7' 紙おむつ

8・8' 吊り鉤

9・9' U字型パイプ孔

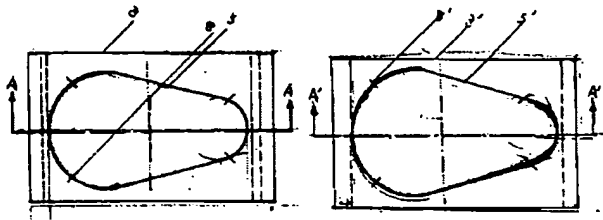
10・10' コ字型細めのパイプ

【図. 1】

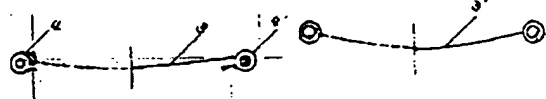
【図1'】

【図. 2】

【図2'】



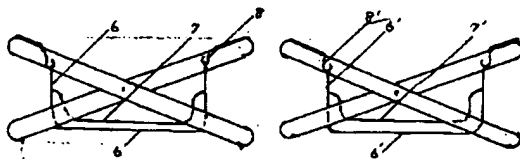
【図4'】



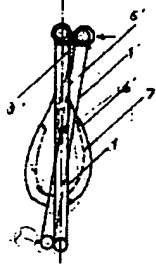
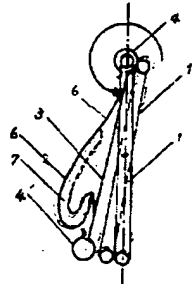
【図. 3】

【図3'】

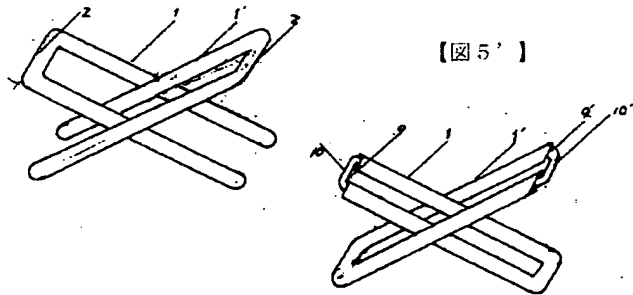
【図. 4】



【図. 5】



【図5'】



【手続補正書】

【提出日】平成9年2月12日

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項1】 2組のU字型パイプを逆にしてX型に組合せ、便座用の穴を開けたプラスチック等の板の一端を円筒形に成形し、U字型上部パイプの周りを回転できる

ように嵌め込み、他端を円筒形に曲げ、他のU字型上端パイプに着脱可能に嵌め込み、折りたたみ可能な床几型便座部を組立て、しかる後、紙おむつ等の吸水材質のシートを敷いたビニール買物袋を拡げ、袋の口を、便座穴の周りに設けた吊り鉤にかけ、消耗品のみで構成される便槽部を、便座穴を通して吊し、トイレを組立て、用済み後は、便槽部を取外して袋の口を閉じ、一時容器に収納した後、纏めて袋ごと焼却処分でき、便座部は折りたたんで、片手で持ち運び出来るマンパワーの節約が期待

される介護用折りたたみ式床几型ポータブル省力トイレ

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正内容】

【0006】

【実施例】上記のように構成された本発明の介護用トイレは、図4の如く、2組のU字型パイプ1、2をX型に組合せ、図1の如く、便座穴4を開けたプラスチック等の板3の一端に、図2の5の如く円筒形を成形し、U字型上部パイプ7の周りを回転できるように嵌め込み、他端を、図2の8の如く円筒形に成形し、U字型上部パイプ6に着脱自在に嵌め込み、折りたたみ可能な床几型の便座部を組立てる。次に、図3の如く、紙おむつ等の吸水材質のシート9を敷いたビニール買物袋10を拡張、袋の口を、便座穴4の周りに取り付けした吊り鉤11にかけ、便座穴を通して吊し、消耗品のみで構成される便槽部12を設ける。上記のように構成されたトイレは、図5の如く折りたたまれ、片手で持ち運ばれ、コンパクトに収納され、取出される。尚、用済み後は、排泄物の入ったままの袋を閉じ、一時、容器に収納保管した後、纏めて、焼却処分できるものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正内容】

【0007】図9の如く、2組のU字型パイプ3、14をX型に組合せ、その上端のパイプ孔15、16、17、18に、図6の如く便座穴4を開けた穴の周りに数個の吊鉤11を設け、かつ、折りたたみ可能な厚手の布19の両端を固定した、コ字型の2組の細めのパイプ20、21の両先端を差し込み固定し、布19を拡張して、便座部を組立て、しかる後、上述の消耗品で構成される取外し可能な便槽部12を取付けた、介護用折りたたみ式床几型ポータブル省力トイレができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】 プラスチック等の板の便座のトイレの平面図

【図2】 A-A断面図

【図3】 プラスチック等の板の便座のトイレの正面図

【図4】 プラスチック等の板の便座のトイレのU字型パイプの床几型組立斜視図

【図5】 プラスチック等の板の便座のトイレの折りたたみ図

【図6】 厚手の布の便座のトイレの平面図

【図7】 B-B断面図

【図8】 厚手の布の便座のトイレの正面図

【図9】 厚手の布の便座のトイレのU字型パイプの床几型組立斜視図

【図10】 厚手の布の便座のトイレの折りたたみ図

【符号の説明】

1、2、U字型パイプ 3、プラスチック等の板

4、便座穴 5、一端のU字型パイプの上部

6、他端のU字型パイプ上部 7、回転可能な円筒形の嵌め込み

8、着脱可能な円筒形の嵌め込み

9、紙おむつ等の吸水材質のシート

10、ビニール買物袋 11、吊り鉤

12、便槽部 13、14、U字型パイプ

15、16、17、18、U字型パイプ孔

19、厚手の布 20、21、コ字型細めのパイプ

【手続補正6】

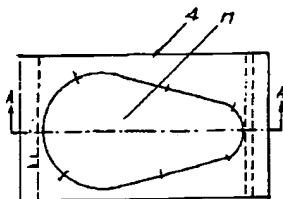
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

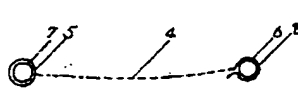
【補正方法】変更

【補正内容】

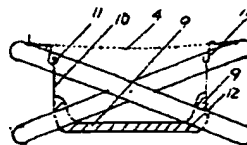
【図1】



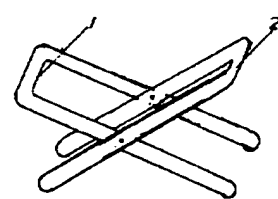
【図2】



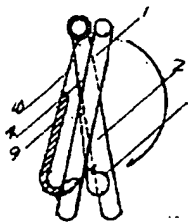
【図3】



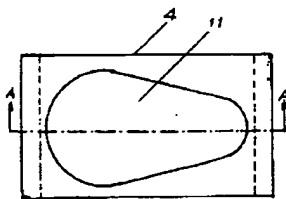
【図4】



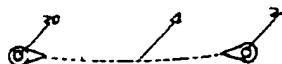
【図5】



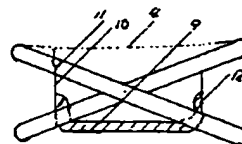
【図6】



【図7】

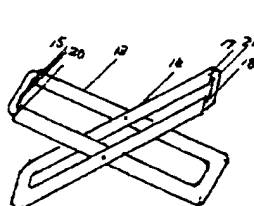


【図8】



【図10】

【図9】



(c) 2000 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

Foldable bed pan for patients, aged - has disposable vinyl bag with paper napkin hung from hanging hooks in periphery of seat hole, which is detached from hooks after usage and seated

Patent Assignee: MATSUO Y (MATS-I)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No Kind Date Applicat No Kind Date Main IPC Week
JP 10057274 A 19980303 JP 96246794 A 19960814 A47K-011/04 199819 B

Priority Applications (No Type Date): JP 96246794 A 19960814

Patent Details:

Patent Kind Lan Pg Filing Notes Application Patent

JP 10057274 A 5

Abstract (Basic): JP 10057274 A

The bed pan has a pair of inverted U-shaped tubular frames (1,2). The two frames are pivoted at the centre to make the frame foldable. A moulded plastic board (3) with a seat hole (5) forms seat of the toilet. The seat is supported on horizontal member of the two frames. The seat is encircled between the two horizontal parts of the frames at top end of the frames.

Number of hanging hooks (8) are provided in the bottom periphery of the seat around the seat hole. After unfolding the frame, the seat is fixed on the frame and a disposable vinyl bag (6) is hung from the hanging hooks. A paper napkin (7) is placed in the vinyl bag. The vinyl bag with the paper napkin forms excreta tank. After using, opening of the bag is closed and detached from the hook for disposal to incineration place.

ADVANTAGE - Saves man power for nursing. Reduces storage space required. Enables to carry with one hand.

THIS PAGE BLANK (USPTO)